※会場が、ホテル金沢４階から５階に変更になりました

第8回 食育講演会

石川県保険医協会
食育プロジェクト主催

口から食べていない乳幼児や要介護者に、歯科はどのような栄養支援ができるか？

講師　舘村　卓 氏

大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 准教授

講師略歴

昭和56年	大阪大学歯学部卒業
昭和60年	大阪大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）
平成12年	大阪大学歯学部附属病院　顎口腔機能治療部　助教授兼副部長
平成１９年　4月～	大阪大学大学院歯学研究科　高次脳口腔機能学講座　准教授
平成１９年11月～	一般社団法人ＴＯＵＣＨ（※）代表理事
平成　9年10月	イリノイ大学 鼻咽腔閉鎖機能の共同研究と言語病理学教育の調査

※ＴＯＵＣＨ　平成18年，口腔ケアを通じて「生涯，口から食べること，そして人らしく生きることを支援する」を合言葉に設立した中間法人．業務は，施設の特性と利用者の様態や要請に基づいて，対象者の評価と職員の知識・技能レベルの評価を行ない，ニーズに応じたサービスが提供できるように職員と施設の質を高めるプログラム（講習・実習，定期的再評価）の提供を行っている．定期的に基礎セミナーとアドバンストセミナーを開催している．大学ならびに社員の臨床および研究を通じて得られた知見を，広く社会に還元することを目的としている．平成21年　社団法人に移行した．

と　き：2011年 **11**月 **13**日（日）　午前 **9:30～12:30**

ところ：**ホテル金沢**　~~4階　エメラルド~~ ⇒ **5階　アプローズ**（定員100人）

対　象：歯科医師、医師、会員医療機関のスタッフ、食育関連職種の方など

参加費：無 料

● 申　込　方　法

次のいずれかの方法でお申込みください

① 裏面の申込書に必要事項を記入の上、Ｆａｘ送信
② 必要事項を明記した電子メールを右のアドレス宛てに送信
③ 電話による申込み

石川県保険医協会

http://www.ishikawahokeni.jp/

〒920－0902
石川県金沢市尾張町2－8－23太陽生命金沢ビル8階

電話：076（222）5373
Fax ：076（231）5156
Email：ishikawa-hok@doc-net.or.jp

＜講演抄録＞

講師　舘村　卓

口から食べていない乳幼児や要介護者に、歯科はどのような栄養支援ができるか？

全身疾患と歯科との関係が明らかになるにつれて，食育を含めて歯科からも栄養について語られるようになりました．しかしながら，歯科と栄養の関係についての話では，まず食事摂取上の現在の傾向が紹介され，その一つに「糖分の過剰摂取」があり，それは歯科疾患にも通じるため「糖分の摂取制限」が重要であるとの結びになることが多いようです．また「自分の歯で噛んで食べることはQOLの向上である」との言葉も耳にしますが，歯科的介入の内容とQOLとの関係を定量的に検討した研究は渉猟した範囲では見当たりません．

「糖分の摂取を制限」して歯科疾患を予防し，「QOLを向上させる」という視点では，教育現場や医療福祉現場で摂食嚥下機能に障害を有する人々への具体的な介入方法が思い浮かびません．そのため，口腔衛生状態は良好で多くの歯が残っているが，栄養は非経口的（PEG，NGチューブ等）で液体の栄養剤を摂取している人に歯科から介入することは少ないのが現状の様です．

近年，救急医療が進歩し，救命率は格段に向上しました．その一方で，社会参加する上で必要な口の機能障害は放置されたままの方が増えています．これまで「来院して，自力で仰臥位を採り，呼吸路の安全性が確保され，経口摂取している意識レベルに問題のない」方の「歯科疾患の治療」を私たちはゴールとしていました．それは歯科疾患を治療すれば一過性に生じた咀嚼嚥下機能の障害が解決する方々だったからです．しかしながら，口から食べる機能の障害への対応を求めておられるのは，このような条件を満たすことができなくなった方々とその御家族です．全身的に問題のなかった時に担当した方々が要介護状態になられた時に，栄養支援の一環として私たちは歯科医療者として何ができるかを，口腔生理学的視点から考えてみたいと思います．

申込締切
11月7日（月）

参加申込書

FAX　076-231-5156
（保険医協会宛て）

第８回食育講演会

と　き：２０１１年１１月１３日（日）午前 9時30分～12時30分
ところ：ホテル金沢　4階　エメラルド

■医療機関・団体名

■申込者名

■電話番号

■参加者名　（職種）

・＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）　・＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）
・＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）　・＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）
・＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）　・＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）